

特別セミナー

アメリカはなぜ CO₂規制に 動き出したのか？ CO₂規制の最新情報



気候ネットワーク

7/8(火)18:30~20:30

東京ウィメンズプラザ 視聴覚室

東京都渋谷区神宮前5-53-67

JR・東急東横線・京王井の頭線・東京メトロ副都心線 渋谷駅 宮益坂口から徒歩12分
東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線 表参道駅 B2出口から徒歩7分

アメリカのオバマ大統領が「気候行動計画」を発表して1年。それを受け、アメリカ環境保護庁(USEPA)は、新設と既存のそれぞれの発電所へのCO₂規制案を打ち出しました。

規制案の通りであれば、石炭火力発電は、
今のまま動かすことも新設することもできないという厳しい内容です。

アメリカはなぜCO₂規制に動き出したのでしょうか？

そして、アメリカの動きは、日本にとってどのような意味を持つのでしょうか？

このたび、この問題に専門家として長年取り組んできたブルース・バックハイトさんと、この規制を後押ししてきたシエラクラブのニコール・ギオさんをお招きし、最新情報についてお話いただくことになりました。
どうぞご参加ください！

プログラム(予定)

1. 「米国の発電所のCO₂規制とその意味」

ブルース・バックハイト氏(環境コンサルタント・元米国環境保護庁)

環境保護庁では、ナショナルプログラムマネージャーとして大気浄化法の施行に携わった。
2004年より環境コンサルタントとして企業や州に戦略的アドバイスを行っている。

2. 「米国のNGOの活動と石炭火力発電問題」 ニコール・ギオ氏(シエラクラブ)

世界銀行、米国輸出入銀行の会議では、シエラクラブを代表して出席。

同団体が行った「Beyond Coal」キャンペーンでは、米国の25以上の州でコーディネーターを務めた。

3. 「日本への教訓」 平田 仁子(気候ネットワーク)

98年6月より気候ネットワークに参加し、NGOの立場から、国内外の地球温暖化に関する政策研究・政策提言・情報提供などを行う。

参加費:気候ネットワーク会員 無料 / 非会員 1,000円

詳細・事前申込み: <http://www.kiconet.org/event/2014-07-08/>

主催・問い合わせ: 気候ネットワーク メール:tokyo@kiconet.org 電話:03-3263-9210 FAX:03-3263-9463
〒102-0082 東京都千代田区一番町9-7-一番町村上ビル6階